

## 7 Growth フェーズ～コンピテンシセンタ

# テクノロジーアセット活用でグローバル成長を加速させる、コンピテンシセンタ

コンピテンシセンタでは、グローバルに成長する市場・事業を特定し、アメリカ・ヨーロッパ・日本の3地域を軸に成長分野の事業を推進するチームを組成するとともに、テクノロジーアセット活用型ビジネスの拡大に取り組んでいる。ブロックチェーンやデザインなど旧来の CoE 活動を起点に、メインストリーム事業を生み出すことが狙いだ。

### Growth から Mainstream へ 事業拡大をコーディネート

NTT データの新中期経営計画で定めた3領域、Emerging / Growth / Mainstream において、技術開発本部が担うのは主に Emerging と Growth である。先進技術の知見とトレンドの見極めを武器に、新たな事業分野を発掘し、芽を育て、主力ビジネスになるまで導くことが求められる。コンピテンシセンタは Growth をメインターゲットに定め、初期 PoC の状態から、事業主体となるチームを組成し、利活用できるテクノロジーアセットを整備することで、グローバル3地域（アメリカ、ヨーロッパ、日本）のビジネスとして高い成長率での押し上げを狙う。

センタ設立後、最初に対象とする事業分野は、全社で CoE 活動として情報交換等が行われてきた「デザイン」「ブロックチェーン」「IA (Intelligent Automation)」「IoT (Internet of Things)」の4テーマである。例えば「デザイン」は、グローバル市場の調査と関連部署ヒアリングを進め、CX（カスタマーエクスペリエンス）デザインにおけるデリバリ向上を中心に、ベンダ製品の積極活用も視野に入れたストーリー／アセット検討を開始した。「IA」「IoT」も同様に NTT データにおける勝ち筋の見極めを進めている。

### ブロックチェーンは技術から ビジネス開拓まで主導

「ブロックチェーン」は技術をコ



株式会社 NTT データ  
技術革新統括本部  
技術開発本部  
コンピテンシセンタ長 栗原 貴之氏

アとした新たなビジネス創出やテストマーケティングが必要になるため、コンピテンシセンタで直接ブロックチェーン技術者チームを指揮する。ヨーロッパやアメリカのメンバとも意識を合わせたうえで、主要なユースケースと使用可能なテクノロジーアセットをセットで整備・評価し、グローバル展開する想定である。

提供中の貿易プラットフォーム「TradeWaltz」のようなトレーサビリティ用途に加え、2021年に急成長を見せた NFT（Non-Fungible Token：非代替性トークン）、投資家が着目する DeFi（Decentralized Finance：分散金融）など、期待の大きな用途・市場に対して、確実にポジションを獲得すべく活動していく。

